まちの課題、望ましい形とは――

恵比寿・代官山地域は、住宅、商店、業務オフィスが複合的に集積し、洗練された独特の魅力を発しているエリアです。今後の望ましい姿について意見が交わされました。

●恵比寿地区は物販店が少なくなり飲食店街化しつつある。チェーン店の増加、後継者難が進むなか、商店会の力が落ちるのが心配。商店を営むことに生き甲斐を感じるような方向で育てていかなければならない。

●代官山駅前商店会も、会の運営はうまくいっているが、組織力は落ちてきている。ゴミ出しのルールを守らないなど、会員でなくマナーの悪いテナントの店舗が少なくないのが問題。それを、町会のみんなで毎日清掃をし、きれいな街を守っているところだ。

●戦後、恵比寿・代官山は住宅だけではない、とても活気のある街になった。今後、どういう街にしていくかみんなで考え、話し合っていくべきだ。

●住宅地での高層ビル開発が問題になっている。活性化に向けた開発は望ましいが、みなの議論と協力が必要である。

●街にとって長く住み続けている人が多いのは、素晴らしい。区からの助成金も活用し、多くの行事を実施していきたい。

「公共性を担うのは市民だ」
(桑原敏武 渋谷区長)

座談会の締めくくりを桑原区長にお願いしました。区長は、「急激な変化を促す場所、多様な価値観が生まれてくる場所としての都市では、いろいろな価値観を摺り合わせることが課題だ。そこでもっとも大切なのがコミュニケーションである。行政は都市施設の整備などで配慮するが、新しい手法を考え、また手法を多様化していく必要がある。『わがまちルール』をつくるために地区協議会をつくり、コンセンサス形成に向けて区も地域と一緒になって考えていきたい」と総括されました。

(この座談会は、2005年9月17日に、代スキ会の「オーラルヒストリー・サロン」として開催され、代官山アドレス5周年を記念する形で行なわれました。出席された恵比寿・代官山地区を代表する松下義男恵比寿地区町会連合会会長はじめ11人の町会長、山下廣光渋谷区町会連合会会長、桑原敏武渋谷区長、小倉基前区長、村上英子都議会議員、松岡定俊渋谷区議会副議長、そして街の参加者の皆さま方に深く感謝いたします。)

代官山地域ステキな街づくりマップ(代スキマップ)
2005年11月14日発行 ■発行者:代官山ステキな街づくり協議会 ■編集:代官山ステキな街づくり協議会事務局 ■協力:アートフロントギャラリー・現代企画室・NPO法人代官山ステキ総合研究所・東海大学工学部建築学科都市計画研究室

代官山好き!
がただ一つの入会資格
いつでも誰でもウェルカム♪

【代スキ会へのお誘い】 代スキ会では、常時入会を受け付けています。
■代スキ会ホームページ:http://www.daikanyama.ne.jp/machi/ ■個人会員 1,200円/年(1口より) 法人会員 12,000円/年(1口より)
■お問い合わせ先:代官山ステキな街づくり協議会事務局(ICAデザイン研究室内)
石原貞治 03-3461-6575 ica@alles.or.jp 野口浩平 070-5023-7747 kohei@land.linkclub.or.jp

DaisukiMap DaisukiMap DaisukiMap DaisukiMap DaisukiMap DaisukiMap DaisukiMap DaisukiMap DaisukiMap DaisukiMap